

# いじめの「未然防止」 —「居場所づくり」・「絆づくり」—

★ いじめの未然防止は、全ての児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができ、規律正しい態度で授業や行事に主体的に参加・活躍できる学校づくりを進めていくことから始まります。

## 居場所づくり

← 教職員が児童生徒のために

- ◇ 学級や学年、学校を児童生徒の居場所になるようにしていくこと
  - ・様々な危険から子どもを守るという安全
  - ・そこにいることに不安を感じたり、落ち着かない感じをもったりしないという安心感

## 絆づくり

← 児童生徒が主体となって

- ◇ 子ども自らが主体的に取り組む活動の中で、互いのことを認め合ったり、心のつながりを感じたりできること
  - ・子ども同士と一緒に活動することを通して自ら感じとっていくものが「絆」・「自己有用感」

未然防止の第一歩

## 「居場所づくり」や「絆づくり」をキーワードにした学校づくり

全ての児童生徒に集団の一員としての自信や自覚

互いを認め合える人間関係・学校風土



具体的には

- ◇ 「授業づくり」を見直す。
- ◇ 「集団づくり」を見直す。

日々の学校生活の改善からいじめの未然防止は始まります。



## 「いじめに向かわせないために、主に学校で取り組むべき課題」

### 「規律（きりつ）」

- ・チャイムが鳴ったら着席するという習慣
- ・授業中の正しい姿勢の徹底
- ・発表の仕方や聞き方の指導 等

### 「学力（がくりょく）」

- ・全ての児童生徒が、授業に参加できる、授業場面で活躍できるための授業改善
- ・間違った答えをしても笑われたり叱られたりしない雰囲気 等

### 「自己有用感（ゆうようかん）」

単なる自己肯定感や自己存在感ではなく、自分の行ったことを他人から認めてもらったという、相手からの好意的な反応や評価があって感じることでできる自己の有用性のことをいう。

きちんと授業に参加し、基礎的な学力を身に付け、認められているという実感をもった子どもは、いたずらにいじめの加害に向かうことはないはずです。

### ＜参考文献＞

- ・生徒指導リーフ Leaf 2 「絆づくり」と「居場所づくり」
- Leaf 4 いじめアンケート
- Leaf 5 「教育的予防」と「治療的予防」
- Leaf 7 いじめの理解
- Leaf 8 いじめの未然防止Ⅰ
- Leaf 9 いじめの未然防止Ⅱ  
(平成24年文部科学省国立教育政策研究所)
- ・「いじめについて、正しく知り、正しく考え、正しく行動する。」  
(平成25年7月文部科学省国立教育政策研究所)
- ・「いじめのない学校づくり『学校いじめ防止基本方針』策定Q&A」  
(平成25年11月文部科学省国立教育政策研究所)

### いじめ対策研究推進委員

委員長	河上 昌俊	西 條 中学校	校長
副委員長	有島 洋之	比美乃江小学校	教頭
委員	表 克昌	宮 田 小学校	教諭
	西田由紀夫	窪 小学校	教諭
	江村 拓之	十二町小学校	教諭
	山口真沙恵	速 川 小学校	教諭
	狩野美智代	北 部 中学校	教諭
	堀田 俊宏	西 部 中学校	教諭
	光安 淳子	氷見市教育総合センター	生活指導主事